



# 内閣総理大臣賞(1件)

<b>内閣総理大臣賞</b> <small>「事業所・地方公共団体等」分野</small>	<p>受賞者名  <b>トヨタ自動車株式会社</b>  <b>豊田通商株式会社</b></p> <p>所在地  <b>愛知県豊田市、愛知県名古屋市</b></p> <p>受賞テーマ  <b>使用済車を中心としたクルマの中長期3R活動</b></p>
--	--

## 1. 世界に先駆け取組みを開始

トヨタ自動車株式会社(以下、トヨタ) 及び 豊田通商株式会社(以下、豊田通商)は、モータリゼーション草創期の昭和40年代後半より、日本国でのクルマの普及が将来は使用済車(廃棄物)の大量発生に繋がることを見据え、その確実な適正処理の「社会システムのモデル構築」と、資源の少ない日本国においてクルマを貴重な資源ととらえた「持続可能なリサイクル等の事業」を先駆的な技術開発とともに推進、日本国におけるクルマの3Rが健全な「社会システム」として確立されるよういち早く取組みを開始し、約40年の長きにわたり各種取組みを推進してきた。



豊田メタル㈱ (愛知県半田市)

(取組み例)

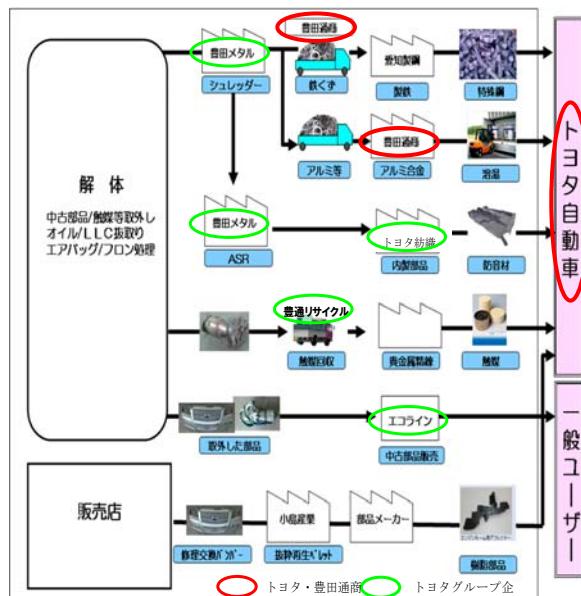
- ① 昭和45年 クルマのシュレッダー会社「豊田メタル㈱」設立 (世界初)
- ② 昭和48年 トヨタ生産工場の潤滑油等の処理・再生会社「豊田ケミカルエンジニアリング㈱」設立
- ③ 昭和60年 クルマの触媒(貴金属)回収会社「豊通リサイクル㈱」設立

## 2. バリューチェーン構築による社会システムのモデルへ

平成15年に長期目標「トヨタリサイクルビジョン」を策定、クルマの開発～廃棄段階までの「ライフサイクル」を通じた各種取組みを精力的に推進。リサイクルの「バリューチェーン構築」による、「ビジネスベース」での社会システムのモデルとして、シュレッダーダストリサイクル等 世界初の取組みや技術開発の推進など、3R推進に貢献してきた。



クルマのライフサイクルを通じた各種取組み



トヨタグループのリサイクルバリューチェーン

### 3. レアメタル等の 3 R 活動への進化、そして日本から世界へ

さらに、直近ではレアメタル<sup>\*1</sup>等の資源を多用したハイブリッド車など 次世代車両の急速な普及が将来の大量廃棄に繋がることを再び見据え、「レアアース<sup>\*2</sup>のリデュース」を目指した取組みを始め、ハイブリッド車用バッテリーの「レアメタルリサイクル」や、エネルギー問題へも貢献可能な「リユースの取組み」等の事業化も開始。日本国の大資源確保戦略への貢献とともに、次世代車両の 3 R の総合的な取組みにビジネススペースでいち早く着手し、先駆的な社会システムのモデルとして実績を上げつつある。

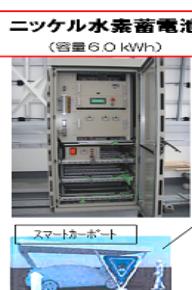
そして、これら 3 R の取組みは、次世代車両の全世界への普及に合わせ、さらに「日本から世界へ」展開、「地球環境に寄り添う意識を持ち続ける（トヨタグローバルビジョン）」取組みを今後一層加速させていく所存である。



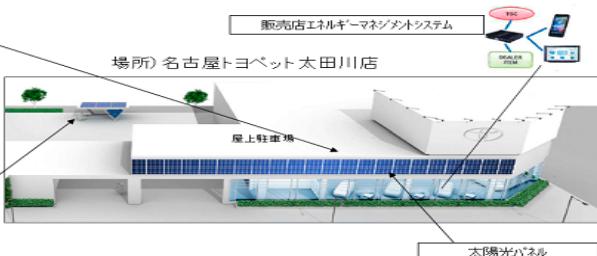
ハイブリッド車用バッテリーのレアメタルリサイクル（世界初）

\*1：希少金属。埋蔵量が少なく特定地域に偏在する。

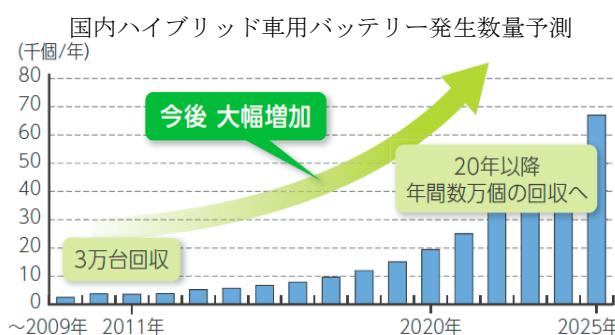
\*2：希土類元素。埋蔵量の少ないレアメタルの一種。



販売店エネルギーマネジメントシステム  
場所：名古屋トヨペット太田川店



ハイブリッド車用バッテリーのリユース品等による定置用蓄電システム（世界初）



ハイブリッド車用バッテリー回収システム構築国

